

平成 29 年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「スピタク市第 8 学校暖房設備改善計画」署名式の実施

平成 30 年 3 月 11 日(日)、草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みによる「スピタク市第 8 学校暖房設備改善計画」の贈与契約の署名式典が、アルメニア北部ロリ州スピタク市において開催されました。本式典には、田口在アルメニア大使の他、被供与団体である NGO「スピタク農民」のマルコシャン代表、アルメニア非常事態省よりカラペチャン次官、ガブリエリャン救助隊次長、ロリ州政府よりナルバンジャン州知事、スピタク行政府よりサハキャン市長等が出席しました。

本計画は、スピタク市内で唯一身体障害児を受け入れ、また 1988 年のスピタク大地震で住居を失った被災者の移住区域に設置されているスピタク市第 8 学校の暖房設備を天然ガスと太陽光エネルギー併用の設備に更新することで、障害児を含む児童 350 名の学習環境と教職員 58 名の就業環境を向上させるものです。また、本計画は太陽光エネルギー併用システムを公立校の暖房設備に導入する全国初の試みとして、注目度の高いプロジェクトであるだけでなく、実用面で既存の暖房設備の上位機種対比で約 37%の CO2 排出量を削減することができ、環境面でも大きな効果が期待されます。被供与団体は、平成 22 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「スピタク市第 3 学校整備計画」、その後続の平成 26 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「スピタク市第 3 学校整備計画」を実施した実績があり、本計画が当館との 3 度目の取り組みとなります。

尚、今回の署名式は、同日にスピタク市で開催された東日本大震災 7 周年追悼式典にあわせて実施したことから、署名式へは案件関係者のみならず追悼式典関係者も参加し、盛大なものとなりました。(追悼式典の詳細は[こちら](#))

案件名: スピタク市第 8 学校暖房設備改善計画 (於ロリ州スピタク市)
被供与団体: NGO「スピタク農民」(NGO “Spitak Farmers”)
贈与金額: 82,992 米ドル (9,129,120 円)
贈与契約締結日: 2018 年 3 月 11 日(日)



生徒による伝統的な賓客出迎えの儀式



生徒による歓迎



生徒や卒業生、職員によるスピーチや演芸



サハキヤン市長による開会の挨拶



田口大使による祝辞



学校長による感謝の言葉



贈与契約への署名の様子



握手を交す田口大使とマルコシヤン代表



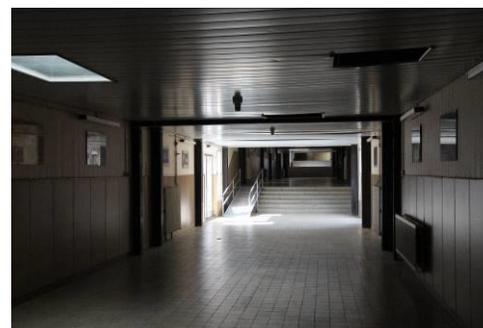
ナルバンジャン州知事の挨拶



式典に出席した非常事態省関係者



校舎入口に設けられた展示品



暖房設備改善対象の1つである廊下

【プレスリリース】

Aravot : <http://www.aravot.am/2018/03/12/942153/>

Fortuna TV : <http://fortunatv.am/post-2352/>

Public TV : (25:53 より)

<http://www.1tv.am/hy/program/videos/%D5%95%D6%80%D5%A1%D5%AF%D5%A1%D6%80%D5%A3#video88176-%D5%95%D6%80%D5%A1%D5%AF%D5%A1%D6%80%D5%A3>